



## 【農業列島】 産地ルポ

### キャベツ

神奈川県  
(横浜市・横須賀市)

根こぶ病、黒腐病に強い  
「BCR龍月」は  
そろいと作業性のよさでも高評価！

(編集部)

関東地区では、根こぶ病に困っている産地は各地に点在しており、同じ地区でも発生する圃場としない圃場があるのが現状です。根こぶ病が発生する圃場では、苗床の消毒とネビジン粉剤、フロンサイド粉剤、オラクル顆粒水和剤などの薬剤施用と耐病性品種選定の組み合わせによる防除で根こぶ病の発生する下地をもつていながらも、なんとか安定した生産を確保しているといった状況です。

その中で、「BCR龍月」は、根こぶ病はもちろん、萎黄病や黒腐病にも強いことから注目され各地で導入が進んでいます。今回は神奈川県での事例を一部ご紹介します。

### 事例 1

神奈川県横浜市羽沢地区  
餅田 幸彦さん



#### 地域概況



#### 横浜市羽沢地区での キャベツ栽培

横浜市は東京都心から30~40km圏内にあり神奈川県最大の都市です。農地と住宅地が混在している全国でも珍しい農業地帯です。多様な品目を生産している近郊農業地帯の中で、羽沢地区は比較的まとまった土地があることから、以前から4~5月、10~11月出荷の良質系キャベツの栽培が盛んで、ほとんどJA横浜共販扱い、近県での消費となります。

近年の播種や定植時期の高温、局地的な豪雨などから常に生産の安定する品種を探しているのは他産地と同じです。

#### 「BCR龍月」導入のきっかけ

餅田さんの経営は春、秋冬キャベツを主力に、ネギ、レタスなど多品目を作る近郊型の農業です。従来から根こぶ病が心配だったことに加え、2019年の台風15号の後に黒腐病が多く発生した際に近隣の圃場で試作していた「BCR龍月」に根こぶ病はもちろんのこと、黒腐病も見られなかったことから導入に至りました。

#### 黒腐病の発生がなく 形状のよい「BCR龍月」

「玉の仕上がりはやや遅い感じで、出

荷初期には内部に余裕がりましたが、後期にはしっかりとした玉になりました」と、根こぶ、黒腐病ともに見られず、形状はやや扁円で、よくそろい、作業性がよい点でも、餅田さんは満足しておられました。また、11月下旬は良質系から寒玉系へ変わっていく時期ですが、食味は寒玉系の中ではやわらかく芯も短いことも高評価でした。餅田さんは、老化しにくく、比較的定植時期に自由が効くことから床育苗を行っています。しかし、「BCR龍月」の草勢は大人しく、徒長しづらいため、よい苗に仕上がったようです。



← 播種は7月28日、消毒した床に4cm×1粒(シーダー加工)、寒冷紗トンネルと遮光資材を使用し、定植は9月28日(本葉5~6枚)条間54cm、株間は35cm。11月15日から収穫。



← キャベツの難防除病害である黒腐病や根こぶ病に耐性のある「BCR龍月」は「足」が短く、根がしっかりして根こぶ病の発生もみられない。

西脇さんは露地栽培主力で、キャベツとカボチャの輪作です。キャベツは津久井地区以外での栽培もあり比較的大面積です。苗床での萎黄病、台風後の黒腐病、生育後半の菌核病などにも10年ほど前から一部の畑で根こぶ病が発生したため、根こぶ病に強い品種の選定には早くから取り組んでおられます。横須賀地区は春系の作付けが多いのですが、出荷先や時期によっては寒玉系でも採算ベースに乗ることも考慮して品種構成を考えておられます。その中で2019年の試作で「BCR龍月」が明らかに黒腐病に強かったことが導入のきっかけになりました。

### 導入の経緯



## 事例2

神奈川県横須賀市津久井地区  
西脇 孝州さん

2020年は、全体的に黒腐病発生が少なかったこともあり、「BCR龍月」には根こぶ病はもちろん、黒腐病の発生は見られませんでした。何よりもそろいよく、軸が短いため風に強く、作業性がよいことから今後も引き続き付けされるそうです。

試しに9月10日定植、12月末〜1月収穫も行いましたが、やや小玉なもの充実した玉で内部色よく、表面のアントシアン着色はあるものの、玉色が濃いため違和感なく、商品性は良好でした。11月の気温が例年より高く、かつ温暖な津久井だからこそできたのかも知れません。ただし、菌核病は極少量が見られたので通常通りの防除が必要ですよ。

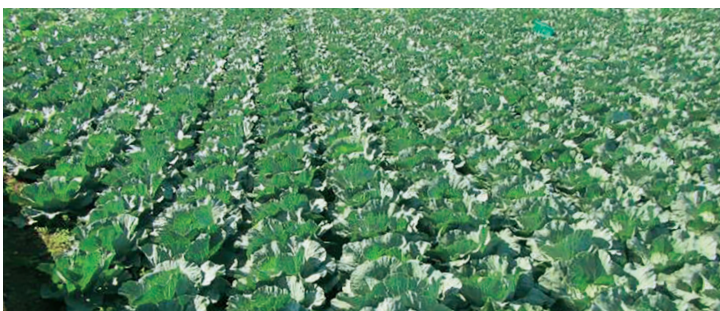
### 地域概況



### 温暖な気候の津久井地区

横須賀市は神奈川県東南部にある三浦半島の基部にあり、温暖な気候から、春系キャベツと完熟カボチャの栽培が盛んです。その中でも津久井地区は東京湾を望む風景が秀逸で首都圏から約1時間とアクセスがよいことから、いちご狩り、みかん狩りなどレジャー農業も盛んです。

そろいがよく、作業性のよさも評価が高い「BCR龍月」



↑ 播種は7月20日、128穴プラグトレイに市販の培養土を使用してハウス育苗。発芽まではシルバーの遮光カーテンを使用(この地区では床育苗が一般的でプラグトレイ育苗は珍しい)。定植は8月20日から、条間55cm株間35cm。11月10日ごろから収穫が始まった。



↑ 左「BCR龍月」、右他社品種。「BCR龍月」は黒腐病の発生もなく、他社品種に比べて玉が大きい。

今回掲載しきれなかった茨城県、千葉県の事例は「タキイ最前線WEB秋種特集号」でご紹介いたします。